

414
A 3238



鐵物貿易ニ係ル年来ノ紛争

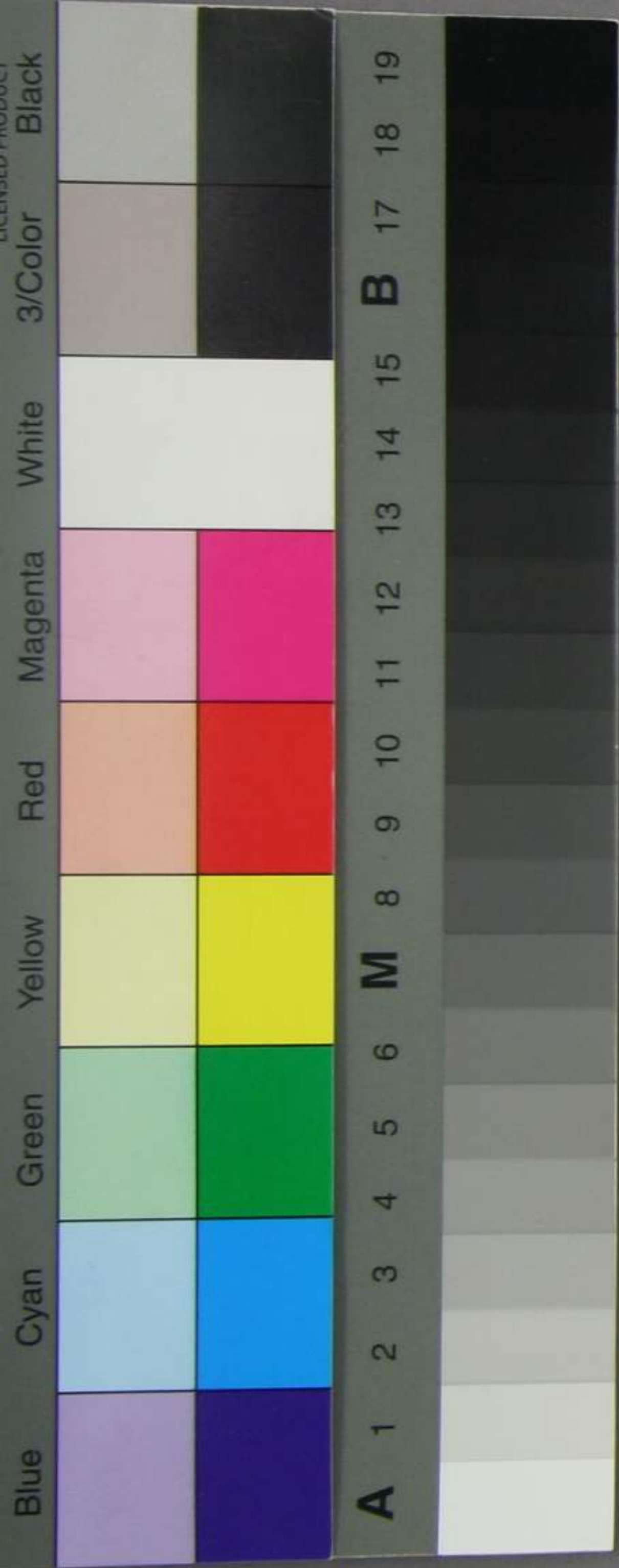
新聞抄譯

製造物諸種類ノ内ニ於テ其雇主ト職方トノ間
数年以來ノ紛争アリ蓋シ此紛争ハ市場ノ景
况好シカラザル時ニ當テ常ニ顯出スルモノニシテ
現今本綿織物貿易ノ市場ニ於テ熾シナリ而
メテラツクボルトン及ビボルトンニ於テハ其勢殊ニ甚
シク既ニボルトンノ如キハ將ニ恐ルベキ激動ヲ生
セントス此論議已ニ時々トナリ相互ノ論闘ハ嚴
密ニ涉リテ其陳述スル所ハ盡ク善良ノ外見シ
有シ其論理ノ或ル者ノ如キハ甚ダ勢カヲ得
タルヲ以テ今之ヲ論說スルハ無益ノ業ニハ非ザル
ナリ

大天
正十一年四月
候
印

か

4203



然リ而メ實際ニ於テ之ヲ見ルトキハ一モ紛争ア
ルニ非ズ且ツ假令多少之アルモ之ヲ記スルヲ要
スル程ノ事件ハアラガルナリ今ヤ貿易ハ不
景氣ニシテ正滯礙セントシ本綿織製造ハ多
クハ不利ト成リ或ハ衰頹ニ赴ケリ製造品ハ
滯集シテ相當ノ價ヲ以テ賣ルベカラズ斯ノ如
キ實況ナルニ依テ雇主ハ職方ヲシテ此一般ノ
難事ヲ俱ニ負荷セシメントシ程ヨキ割合ヲ以テ
其給料ニ百分ノ五ノ減少ヲ行ハントセシカバ職方
ハ此減少ニ抵抗シ之ヲ承諾センヨリハ寧ろ闘争
スルニ若カズト發言セシナリ而メ茲ニポルトニ於
テハ百五十万人アリテ其一万二千程ハ既ニ姓名ヲ
明記セリ

サテ職方ノ主張スル所ハ左ノ如シ其一般ニ論スル所
ハ此難事ノトキニ當リテ給料ヲ減少スルハ其結果ノ
良シキヲ得タルモノニ非ズ仕役ノ時間ヲ減縮スル
善良ノ策ナラント云ヘリ而メ其辞柄トスル所ハ製
造品ノ滯集ナリ其意蓋シ謂ク製造度ヲ越
過セリ供給ハ需用ノ上ニ出デタリ而メ之ヲ醫スルノ良方
ハ市場ニ於テ需用ト供給ト平均スルカ或ハ供給ヲ需
用ニ足ラザルマデニ減少スルニアリト且ツ其他ノ所論ハ一
讀ニシテ可認スヘキモノタルヲ知ルニ足レリ即チ其ノ主意ハ今
日ノ如キ實況ニ於テ尚ホ引續キ充分ノ時日ニ製造シ充分ノ物品
ヲ製出スルハ愈々此難事ヲシテ引續カシメ之ヲ甚クシキニ至ラシムルニ
過ギンシテ既ニ倉庫ノ製品ヲ解散セル市場ヲモ又充満セシムベシ
ト其論理タルヤ好シ而ルニ職方ハ尚ホ他ノ三層ヲ以テ其口實ニ勢

カラハナリ(第三)曰ク、我々現今ノ仕役時日ノ三分ノニタケノ
ミハセント強スルガ故ニ給料ノ如キハ汝ノ所望ヨリモ多クヲ棄去シ
テ我々ノ正直ナルヲ証ス(第二)曰ク、汝ノ発言セル百分一ノ減少
ノ代リニ於テ我々ハ三週間ニ十二シリング即チ百分三十三ヲ讓ルベ
シ其他假令我々ハ汝ニ之ヲ信セシムルヲ得ガルトモ又假令右ノ減縮
ヨリ得タル時日ヲ一層善キ仕事ニ用ユルヲ得サルモ(盡ク之ヲ得
ザルニハ非ズトモ)此兩暇ハ我々ノ為メニ要用ノモノナルヘシ
(第三)終リ時日ヲ減縮スルノ策及ヒ之ヨリ生ズルリダール木綿織物市
場ノ物品ノ減少ハ少ナクモ製種品ニヒキ百分五ノ減少ヲナスニ至ルベシ
此説タル實ニ重要ナリ而シテ雇主ノ答辨ハ其ノ外面ニ於テハ
斯ノ如クニハ確實ニ非ストモ又明瞭ナラサルニ非ス然レ
モ其陳述スル所ハ論主ノ境界ヲ超過シ時日ヲ短縮ス
ルハ雇主ノ地位ヲ辱シムルモノニシテ決シテ之レヲ救助

スルキモノニ非ズ何者雇主ノ之ガ為メニ反テ損失ヲノ増
加ヲ受クヘケレバナリト云ヒ又製造品滞集ノ倉庫ヲ處
置スルニツキテ其ノ冀望スル所ハ製造品ノ價ヲ低下スル
ニアルヲ以テ時日ノ減縮ハ製造品ノ價ヲ低下スルコトナク
反テ之ヲ増加セシムベケレバ時日ノ減縮ハ低價ヲ妨クル
モノナリト云ヘリ此説タルヤ其當ヲ失シ過言タルヲ免カ
レシテ衆人ノ決シテ了解セサル所ナリ且ツ職方モ之
ヲ取知セサルナリ我輩ハ想像ニアラサル真實ノ一例ヲ
挙ケテ單一ニ明瞭ニ公正ニ之ヲ言ハントス抑モ木織物
ノ價ハ四個ノ物品ヨリシテ成レルモノナリ第一ニ
カエージ(毎月掃)反ニ年給第二ニ諸雜費即チ馬
車、石炭、油及ビ其他ノ品類第三ニ常定資本金不定
資本金ノ利子第四ニ機関及ヒ諸器具ノ破損是ナ

リ而シテ此諸品物ハ多クハ全ク或ハ殆ント一様ニ重大ナルモノナリ機關ハ一週間ニ之ヲ四日用ニルモ六日用ニルモ破損ニ遲速ヲ与フルコトナシ又一週間ニ木綿織一万八千箇ヲ製スルモ二万二千箇ヲ製スルモ其入費ニ相違アルコトナシ給料ハ多クハサラリ即チ年給ニシテ週給ニハ非サレハ製造ノ高ニ關係アルコトナシ或ハ之ニ關係アルモ甚ク僅クナリ右ハ雜費ト云フヘキモノナリ石炭及ヒ油ノ入費ノ如キハ時日ノ短縮ニ關係アルベキモノニ非ス又制衣造主ハ市場ニ運送スル綿織ニ増減アルモ馬車ハ常ニ一様ニ之ヲ備ヘ置カサルヘカズ且ツ資本金ニ拂フヘキ利子ハ一日ニ付八時間仕役ヲ一スモ十時間ノ仕役ヲナスモ十二時間ノ仕役ナルモ

決シテ利子ノ金額ヲ變スルコトアルベカラズ而シテ諸機關ノ破損ハ之ヲ運轉スルモ之ヲ運轉セサルモ其破損ハ様ニシテ或ハ運轉セザルハ及テ多ク破損ヲ生スベシ且ツ常ニ善ク之ニ修復ヲ加ヘ置カザルベカラズ其他時間ノ減縮ハ若シ之ヲ永遠ニスルトキハ職方ニ弊害ヲ與フベキモノニシテ何クニモ其業ヲ求ムルヲ得ベキ巧手ノ職方ヲ失フヘシ是レ製造家が各々能ク知ル所ナリ故ニ其ノ結局ハ蓋シ我輩が保記スル所ノ注意アル計算ノ如クニシテ即チ左ノ如シ茲ニ許多ノ製種品ヲ費用スル製造場アリテ其充分ノ時日(六日間)ニ製造スルトキハ其諸入費ハ「ポンド」ニ付ニ「シル」ニ付「七十五」ペンズニシテ減縮ノ時日(四日間)ヲ以テスルトキハ四「シル」ニ付「二十五」ペンズニ付ル給料百々十

ヲ減クシテ充分ノ時日ニ製スルニキハ三、シリング五
ポンスノ入費ナリ因テ時日ノ減縮ハ本綿織物製
造入費ニシンドニツキ半、ポンスノ増加ヲ與ヘタリ即
チ尋常ノ機関ヲ以テ一週毎ニ四万八千、ポンドヲ
減ズルガ故ニ一年間ニ五千、ポンドステリングノ相
違ヲ生ズルナリ而シテ百分之十マデ給料ヲ減
少スルノ仕方ヲ以テスルトキハ及テ一ポンド毎ニハ三
ク(分ナリ)即チ二千五百、ポンドステリングヲ檢ス右ニ
想像スル所ノ例ニ依テ之ヲ考フレバ雇主ノ思考
スル所ニ由テ生ズル入費ト職方ノ其莫望スル法方ヨ
リ生ズル入費トノ間ニ於テ一ポントニツキ三、フアルシ
即チ百分之十五ノ相違ヲ来ス、瞭然タリ此
ペ、センテージ(百分ノ割合ヲ以テ
算スル法ナリ)ヲ以テ推考スルトキハ今又

職方ニ拂フベキ給料ヲ嚴密ニスルト程度ヲ以テ
スルトノ間ニ於テモ同ジク相違ヲナスベシ故ニ
製造品ヲ低價スルニ於テモ又同様相違アルベシ
且ツ為メニ倉庫ヲ空ニスルヲ得ヘシ其他右ニツ
キ外國競争者ト英國製造者トニツキ英國人ノ為
メニ大利ヲ生ズルコトアルベシ是レ其ノ最要ノ
點タリ
今我輩ヲシテ右ニ記載スル所ノ諸仕方ニ依テ職
方ノ得ル所各々相異ナルヲ觀察セシメヨ茲ニ一
父ト一男一女子ノ家族アリ是レ尋常ノ一家族ナ
リ俱ニ善良ノ木綿織機関ヲ以テ製造シ一週毎ニ
得ル所ハ一ポンド四、シリングニ至ル職方ノ仕方
タル減縮ノ時日ヲ施ストキハ其ノ得ル所ニポン

ドニ、レルリングハ、ペンスト成ルベシ、雇主ノ仕方
タル給料百分ノ十ノ減少ヲ以テスルトキハ、二ポ
ンド、十七、レルリングハ、ペンス、或ハ十五、レルリ
ングヨリ多キニ至ラシムベシ、是故ニ職方ヨリ進呈
セル仕方ハ、反テ雇主ヨリ望ム所ノ法方ヨリモ十
五、レルリング以上ノ棄去ヲ致スベシ、然ルニ職方
ハ雇主ノ法方ヨリモ自己ノ進メシ仕方ヲ取ラン
ガ爲メニ無期ニ毎週六、レルリング、或ハ七、レルリ
ングヲ棄去スルノミナラス、現今得ル所ヲ盡ク之
ヲ捨ルモ顧ミザルカ如シ之ヲ要スルニ其論理ハ
若シ之ヲ十分ニ吟味スルニ於テハ、其利ナキノミ
ナラス、反テ有害ノモノナルベキナリ
然ラハ、則チ職者ハ、何故ニ此如ク、顯然損害アル時

日ノ減縮ヲ欲スルヤコレ他ナシ、只其ノ自然ノ細
密ノ思考ヨリ疑念ニ眩惑セラレ、其ノ多クノ才智
アルモノ、如キハ、疑惑スベキ文章ヲ誤解セシガ
故ナリ、渠等ハ、無眼ノ推察ヲ以テ、給料ノ割合ノコ
トニ、三、偏傾セリ、渠等ハ、一、タビ、此、減少ヲ受クル
トキハ、之ヲ復スルハ、難事ナルカ、或ハ出来ベカラ
ザルヲナルヲ、是迄ノ數度ノ實驗ニ、依テ、想像セリ
渠等ハ、真利ト虚利トヲ混視セリ、又、渠等ニ望ムニ
經濟ノ源理ノ注意ヲ以テシ、渠等ヲシテ、其ノ給料
ハ、貿易ノ繁昌次第速カニ増加マラルベシ、其ノ職
ハ、木綿織物ノ需用多キニ至レハ、速カニ十分ノ恢
復ヲ得ベシト云フヲ、確信マシメントスルハ、蓋シ
無理ナリト雖モ、今日ノ論題ノ代ニ於テ、給料ハ、追

々百分ノ二十五或ハ三十ニマテ進ムニ至リシ丁
ハ備方自己ノ記憶ニ由テ承知スルヲ得ベシ且ツ
一千八百七十二年以來其ノ根柢ニモ拘ラス給料
ノ減少ヲ受ケシ丁二三度マデニ至リシハ又自己
ノ記憶ニ由テ明知スルヲ得ベキナリ
到底我輩が此一時ノ製造品ノ過分ヨリ起レル妨
害ヲ医スルノ良策ト信スル所ハ時日ノ減縮ナリ
而シテ汝が製シ且ツ賣却セントスル所ノ物品ノ價
ヲ止ムヲ得ス甚タシク高度ニ至ラシムベキ處分
ハ他ノ物品モ皆然リ常ニ己ヲ害スルモノナリテ
己ノ地位ヲ減スルモノナリ